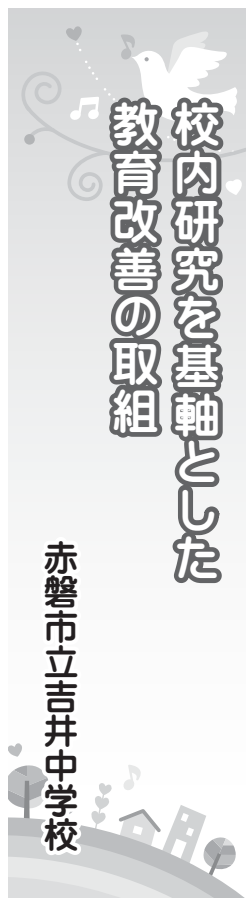


広げよう！優良実践の輪！

～ 令和3年度 優良実践校等の取組 ～

取組 2



1 はじめに

本校は赤磐市の北部に位置し、全校生徒62名の小規模校です。本校生徒の課題として、主体的に学習に取り組む態度や自分への信頼の不足などが上げられていました。そこで、自律した学習者の育成を図ることを目的として、校内研究を基軸とした教育改善に取り組んできた概要を紹介します。

2 取組の概要

生徒の諸課題の根源的な原因をエビデンスベースで共有するため、全校生徒を対象に45項目からなる4件法の質問調査を毎年6月と12月に実施しています。その結果を全教職員で分析し、「効果のある指導」に向けた取組が学校組織として展開されています。



校内研究の様子

(1) 褒め言葉のシャワー

生徒に自信をもたせるため、全教職員による「ボイスシャワー」でプラスの声をかけを実践するとともに、仲間同士の「褒め言葉のシャワー」で、友だちの良さを紹介したり、掲示したりしています。また、生徒の良さが発揮される場面を意図的に設

定し、生徒を丁寧に観察・称揚しています。

(2) 聴くことへの指導の徹底

「人の話を真剣に聴くことのできる人は、人を大切にすることができる人」として、また、「目を見て、うなずいて、考えて」を聴き方として、聴くことの大切さを授業や集会等において、継続的に徹底して生徒に伝えていきます。

(3) その他の取組

主体的な学びを促すために、「学びの4か条」の作成、ペア



グループワークの様子

ワークやグループワークを取り入れた授業、教え合い学習、学年を越えたグループ活動にも力を入れて取り組んでいます。また、今年度は本校の教育課題を映す生徒を中心に、指導・支援すること、その視点生徒の変容の分析を全教職員で行っています。

3 おわりに

本校は教職員の人数が限られているため、全教職員で組織として取り組むこと、OJTグループで自律的・日常的にグループの特色を生かしながら取り組むことを整理して研究を進めています。そのため全教職員による焦点化した取組が展開され、「効果のある指導」に結びついています。また、その効果の検証については、教職員にも同内容の質問調査を実施することで、課題解決の意識の向上と教職員の協働性を高めることができています。

(校長 青山利明)